

安全データシート

(SDS)

製品及び製造者情報

製造者名 一般社団法人日本粉体工業技術協会
住 所 〒600-8176 京都市下京区烏丸通六条上ル北町181
第5キョートビル7階
担 当 部 署 粉体工業技術センター 製造事業部門
電 話 番 号 075-354-3583
FAX番号 075-352-8530
E-mail: testpowders@appie.or.jp
連 絡 先 同上

作成日 2015年 9月 25日
改訂日 2025年 8月 28日

製品名 (化学物質名):
・ J I S 試験用粉体1の4種及び9種 (タルク)
・ S A P 試験用粉体3の2種 (タルク)
・ 電気・電子製品試験用砂じん (タルク粉末 E T D P)

危険有害性 [GHS分類]

物理化学的危険性	分類結果
火薬類	該当しない
可燃性ガス	該当しない
エアゾール	該当しない
酸化性ガス	該当しない
高压ガス	該当しない
引火性液体	該当しない
可燃性固体	該当しない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	該当しない
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	該当しない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	該当しない
金属腐食性物質	分類できない

環境に対する有害性	分類結果
水生環境有害性 短期 (急性)	分類できない
水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない

健康に対する有害性	分類結果
急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	該当しない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分 1 C (CaO)・区分 2 (Fe ₂ O ₃)
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2 (MgO)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分 2 (SiO ₂)
発がん性	区分 1 A (SiO ₂) 第 1 群（日本産業衛生学会）
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分 1 (SiO ₂)（呼吸器、免疫系、腎臓） 区分 3 (MgO・Fe ₂ O ₃)（呼吸器系の刺激）
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分 1 (SiO ₂ ・CaO・Fe ₂ O ₃)（呼吸器、免疫系、腎臓）
誤えん有害性	区分 1 (CaO)

GHS ラベル要素 絵表示又はシンボル

注意喚起語：危険



危険有害性（一般事項）

危険性：床にこぼれた場合、舞い上がる恐れがある。不燃物で可燃性・爆発性はない。

有害性：呼吸器の障害

長期にわたる、又反復ばく露による呼吸器の障害。

組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：単一製品

一般名・化学名：タルク粉末（含水けい酸マグネシウム）

化学式 $3\text{MgO} \cdot 4\text{SiO}_2 \cdot \text{H}_2\text{O}$

化学成分：SiO₂（二酸化ケイ素）60～63%

MgO（酸化マグネシウム）30～34%

Fe₂O₃（酸化鉄）0～3%

Al₂O₃（酸化アルミニウム）0～3%

CaO（酸化カルシウム）0～2%

強熱減量 3～7%

4 種：結晶質シリカ（トリジマイト） 0.3% CAS No.：15468-32-3

9 種・SAP3-2・ETDP：結晶質シリカ（石英） 0.3%

・（トリジマイト） 0.2%

CAS No.：14807-96-6

（アスベスト含有量 検出限界 0.1 wt. %以下）

応急措置

目に入った場合：清浄水で洗眼し、痛みがある場合は医師の手当を受ける。

皮膚についた場合 : 直ちに払い落として水道水で洗い流す。皮膚に刺激を感じる時は医師の診断を受ける。
 口に入った場合 : 直ちにうがいをして口外に洗い流す。多量に摂取した場合は医師の診断を受ける。
 吸入した場合 : 新鮮な空気のある所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息する。気分がすぐれない時は医師の診断を受ける。

火災時の措置 消火方法 : この製品は燃えず、反応もしない。有毒ガスも発生しない。
 消火剤 : 水をはじめ、各種消火剤を使用できる。

漏出時の措置 床などにこぼれた場合は舞い上がることもあるので、速やかにモップなどで清掃する。

取扱い及び保管上の注意 取扱い : 粉じん障害防止規則、管理濃度、許容濃度に従って、飛散させないように静かに取り扱う。吸い込んだり、眼に入る恐れがあるので必要に応じ保護マスク、保護眼鏡を着用等の対策をとる。
 保管 : 容器を密封し、常温常湿の屋内に保管する。

ばく露防止及び保護措置 許容濃度 : 第1種粉塵 吸入性粉塵 0.5 mg/m³
 総粉塵 2.0 mg/m³
 吸入性結晶質シリカ 0.03 mg/m³
 設備対策 : 発じん場所は局所排気を設け、周りに漏出しないようにする。局所排気は外部へ飛散しないように、集じん設備を設ける。
 保護具 : 呼吸用保護具 : 適切な防じんマスクを着用すること。
 保護眼鏡 : 適切な防じん保護眼鏡を着用すること。
 保護手袋 : 状況に応じ保護衣及び保護手袋を着用すること。
 保護衣 : 特に必要ない。

物理/化学的性質 外観等 : 白色、微粉末、無臭 粒子密度 : 2.7～2.9 g/cm³
 融点 : データなし 引火点 : 不燃性
 溶解度 : 水、有機溶剤、酸、アルカリに不溶

安定性及び反応性 安定性・反応性 : 熱・光・衝撃に安定、化学的にも安定している。

有害性情報 急性毒性 : がん原性、皮膚等障害等に注意が必要である。
 刺激性 : 特にない。
 その他 : 飛散した微細粉じんを長期にわたり吸い込むと、呼吸器系疾患の恐れがある。

環境影響情報 移動性 : 微細な粉じんは、空気中に飛散しやすい。
 蓄積性 : なし
 環境影響 : 粉じんを外部へ排出すると、粉じんによる環境汚染の恐れがある。
 その他 : なし

廃棄上の注意 一般産業廃棄物として処理できるが、地方自治体の基準に従うこと。

輸送上の注意 運搬に際しては容器等に漏れの無い事を確かめ、転倒、落下、損傷の発生がないように積載し荷崩れの防止を確実に行う。
 国連番号 : なし

国連危険物分類：該当せず

摘要法令

労働安全衛生法：労働安全衛生法施行令別表第 9（名称等を表示・通知すべき危険有害物。
令和 7 年（2025 年）4 月 1 日から労働安全衛生規則別表第 2）結晶質シリカ、酸化鉄、酸化カルシウム
労働安全衛生規則第 577 条の 2（がん原生物質） 結晶質シリカ
労働安全衛生規則第 594 条の 2（皮膚等障害化学物質等）
酸化カルシウム
粉じん障害防止規則第 2 条第 3 号、別表第 1（粉じん作業）
じん肺法：第 2 条第 3 号、別表（粉じん作業）
P R T R 法：第一種指定化学物質及び第二種化学物質含有なし
毒劇物取締法：該当物質の含有なし
内分泌攪乱物質：対象物質の含有なし

その他

参考文献：

- ・労働安全衛生法に基づくラベル表示・SDS 交付等の義務対象物質一覧
（令和 7 年（2025 年）4 月 1 日施行分）（令和 8 年（2026 年）4 月 1 日追加分）
 - ・J I S Z 7 2 5 2 GHS に基づく化学品の分類方法(2019)
 - ・J I S Z 7 2 5 3 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，
作業場内の表示及び安全データシート（SDS）(2019)
 - ・化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）改訂 9 版（2021）
 - ・日本産業衛生学会：許容濃度等の勧告（2024 年度 日本産業衛生学会）
 - ・日本粉体工業技術協会・粉体工学会編：“最新粉体物性図説（第三版）”，エヌジーティ，（2004）
 - ・2024 年 4 月施工 労働安全衛生法「ラベル表示・SDS 甲府の義務化対象物質リスト」
-

【記載事項の取り扱い】

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも充分ではないため、取り扱いには充分注意して下さい。また、この SDS は、現在知り得る範囲において誠実に作成しておりますが、これをもってなんら保証するものではありません。
ここに記載してある注意事項は通常の取り扱いを対象としたものです。特殊な取り扱いの場合は、用途・方法に適した安全対策を講じて下さい。

以上（全 4 頁）